



# 笑顔のために

富士宮市議会2月定例会  
年4回発行

令和3年6月1日発行

議会だより

No.421

## 本号の表紙

北山小学校6年生の皆さんが、校外学習として議会の傍聴に来てくれました。聞きなれない言葉が多かったと思いますが、皆さん真剣に議場での話し合いに耳を傾けていました。

また、議会についてのアンケートに答えてくれたので、2ページ目(このページの裏)に掲載します。

## 目 次

- 01 表紙
- 02 目次／表紙説明
- 03 2月定例会の流れ
- 04 2月定例会議決結果
- 05 議決ピックアップ解説
- 06 予算審査特別委員会
- 07 議会運営委員会／常任委員会
- 08 環境厚生委員会政策提案
- 09 産業都市委員会政策提言
- 10 数字で見る一般質問
- 11 一般質問（18人）
- 20 代表質問（7会派）／交際費など
- 24 今後の定例会の予定／  
声の議会だより／  
議会だより編集委員長挨拶



### ～北山小学校6年生 議会傍聴の感想～

- 富士宮市をよりよくするために話し合っていることがわかって良かったです。
- 言葉や話の内容が難しかったです。
- 6年後選挙権を持つので、選挙に参加し、少しでも協力したいと思いました。
- 議員さんが提案したことを、みんなで考えて決めていたので、人々の意見を取り入れるために、18歳になったら積極的に選挙に関わりたいと思いました。
- 子どもや高齢者など、市民のために働いてくれてありがとうございます。
- 議員さんはどうしてタブレットをもっているんですか？



→[答え] 議員への連絡をより効率的に確実にを行うためです。また、資料を紙ではなくデータにすることで紙の省資源化を図ることもできます。

- 女性の議員が少なかったのですが、もっといるんですか？



→[答え] 富士宮市議会議員は現在21人です。そのうち女性議員は2人です。

### あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に  
郵便→〒418-8601  
富士宮市弓沢町150番地  
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



### 議会を『ネット』でみよう！



本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。

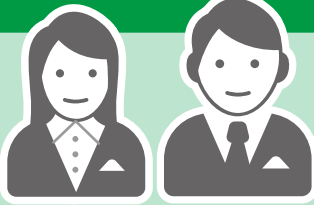
下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

富士宮市議会

検索





**開会**  
**提案理由説明※1**  
**市長施政方針※2**  
 2/9

議案(条例の一部を変えることや、令和2年度補正予算など)について審議します。

令和3年度の予算に関することは、予算審査特別委員会に付託されたため、3日間の日程の中で集中的に審議が行われました。審議合計 16 時間!

**議案審議  
 審査付託※3**

2/12

CHECK! P4

2月定例会では、議案審議や一般質問等に加え、次年度予算を審査する「予算審査特別委員会」や市長施政方針に対する質疑を行う「代表質問」が行われました。



付託された案件について、常任委員会では詳しく調査検討をします。また、付託された案件以外にも、所管する事務について任意に調査することもできます(=所管事務調査)。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会(総務文教、環境厚生、産業都市)があります。

**常任委員会  
 開催**

2/15,16

CHECK! P7

代表質問とは?

市長施政方針の内容に対し、各会派から選ばれた議員1人が質疑を行うことです。

**予算審査  
 特別委員会**

2/22,3/5,8

CHECK! P6

**代表質問**

3/3,4

CHECK! P20~23

一般質問とは?

定例会の議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

**一般質問**

3/11,12,15,16

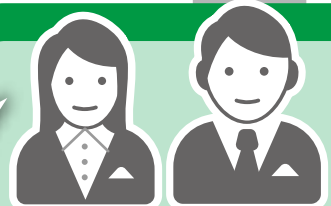
CHECK! P10~19

## 用語解説

- ※1…議会の冒頭で、提出議案についての説明を行うことです。
- ※2…次年度の基本方針や政策についての姿勢を示すための、市の長として行う方針演説のことです。
- ※3…一部の議案については、より詳しく検討を行うため、所管の常任委員会に審議を託します。この託す行為を「付託」といいます。



予算審査特別委員会や常任委員会に付託した案件を含め、その他の議案について、議会として最終的に決定(=議決)しました。



**閉会、議案審議**  
 3/17

CHECK! P4

# 2月定例会 議案審議

2月9日開会～3月17日閉会  
以下の議案を議決しました。

議案番号	件名	議決結果
陳情第1号	日本政府が速やかに「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出についての陳情書	採 択
議選第1号	共立蒲原総合病院組合議会議員の選挙について	決 定
議決第1号	日本政府が速やかに「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出について	原案可決全会一致
議決第2号	富士宮市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	//
議決第3号	富士宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	//
議決第4号	富士宮市再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例制定について	//
報第1号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算(第9号)の専決処分報告について	承 認
報第2号	富士宮市土地開発公社の令和3年度事業計画の報告について	報 告 済
報第3号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和3年度事業計画の報告について	//
報第4号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
議第1号	富士宮市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議第2号	富士宮市出張所設置条例の一部を改正する条例制定について	//
議第3号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//
議第4号	富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//
議第5号	富士宮市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び富士宮市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	//
議第6号	富士宮市立公民館条例の一部を改正する条例制定について	//
議第7号	富士宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議第8号	富士宮市経済変動対策貸付資金利子補給基金条例制定について	//
議第9号	富士宮市地域創生基金条例制定について	//
議第10号	富士宮市防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約の変更について	//
議第11号	富士宮市民体育館長寿命化工事(建築工事)請負契約の変更について	//
議第12号	市道路線の認定について	//
議第13号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算(第10号)	原案可決賛成多数
議第14号	令和2年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決全会一致
議第15号	令和2年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第16号	令和2年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	//
議第17号	令和2年度富士宮市水道事業会計補正予算(第3号)	//
議第18号	令和2年度富士宮市下水道事業会計補正予算(第4号)	//
議第19号	令和2年度富士宮市病院事業会計補正予算(第4号)	//
議第20号	令和3年度富士宮市一般会計予算	//
議第21号	令和3年度富士宮市北山財産区特別会計予算	//
議第22号	令和3年度富士宮市国民健康保険事業特別会計予算	//
議第23号	令和3年度富士宮市上井出区財産区特別会計予算	//
議第24号	令和3年度富士宮市猪之頭区財産区特別会計予算	//
議第25号	令和3年度富士宮市根原区財産区特別会計予算	//
議第26号	令和3年度富士宮市介護保険事業特別会計予算	//
議第27号	令和3年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議第28号	令和3年度富士宮市水道事業会計予算	//
議第29号	令和3年度富士宮市下水道事業会計予算	//
議第30号	令和3年度富士宮市病院事業会計予算	//
議第31号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算(第11号)	//
議第32号	富士宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	//
議第33号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議第34号	富士宮市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議第35号	富士宮市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例制定について	//
議第36号	令和2年度富士宮市一般会計補正予算(第12号)	//
議第37号	令和2年度富士宮市病院事業会計補正予算(第5号)	//
諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	//
選第1号	教育委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	//

※陳情＝議会への要望、議選＝議会で行う選挙や人事案件、議決＝議会からの議案、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件の略。(2月定例会からの通し番号)

※詳しくは市議会事務局(電話22-1191)までお問い合わせください。



議員の視点

## 市民生活



## 結婚新生活支援事業

夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万未満(給与年収目安約550万円)の婚姻した世帯の新生活に係る住居費や引っ越し費用を助成する。

## 妊娠出産子育てシェアサポート事業

妊娠期から子育て期にわたる、切れ目ないサポート体制の充実のため、各種講座や居場所づくりを実施する。

## デジタル化推進



## 総務省への職員派遣など

総務省に職員を派遣することにより、デジタル化に関する国の情報をいち早く共有するとともに、行政のデジタル化に関する国の知見、業務構築手法等を市の施策に反映させていく。

また、令和3年度から富士宮市にも新たに、専任職員を配置し事務事業におけるデジタル化を強力に進めていく。

令和3年度予算

ここに注目!

新しい取組

## 商工業支援



## 中小企業総合支援事業

「ビジネスコネクトふじのみや」という、市・富士宮商工会議所・芝川商工会・富士宮信用金庫の4者が連携し、中小企業からの総合相談を受け付け、必要に応じて専門コーディネーターの派遣を実施する。

## 観光促進



## 食のまちづくり推進事業

フードバレーサミット開催・フードバレー都市交流・情報発信サイトの運営

## E-BIKE利用促進

新たに芝川地区と朝霧高原に設置する。

## 大河ドラマゆかりの地周遊促進

静岡県伊豆地区および東部地区の20市町と観光・商工関係団体など82団体で構成する、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地伊豆・富士山周遊促進連絡協議会に参画し、県内外から人を呼び込むことを目的とする。

## 【松永 孝男 委員長のコメント】

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響で減収が見込まれる市税を補填し、飲食・観光など落込みの激しい事業者を支援するために約15億円を財政調整基金から繰り入れ、一般会計の当初予算額は457億3千万円となりました。

その当初予算の中には、プレミアム付商品券の再発行による景気浮揚策や、公共事業の前倒しによる平準化などが盛り込まれています。



▲松永孝男 予算審査特別委員長

## 会派が注目する令和3年度に予算化された事業

日本共産党 議員団	小学校校舎等整備事業  合計 4億 5787万円	小中学校で、トイレ全面改修が必要な校舎は48棟ある。これまでは、年1棟のペースで改修を進めてきたが、命に関わる耐震化工事と合わせて、令和3年度からは年2棟以上のペースを目標に計画する。トイレの質改善とともに切実な要望である。
富岳会	デマンド型乗合タクシー事業 (宮タク) 委託料 合計 1673万4千円	北部エリア、内房エリアから市街地までの直行や付き添いとして1人同乗できること等、宮タクの利便性向上に向けて実証実験が行われている。多くの市民の利用と意見で利用しやすい「宮タク」を作る。
令和	デマンド型乗合タクシー事業 (宮タク) 委託料 合計 1673万4千円	総務文教委員会の政策提言が取り入れられ、宮タクにおいて利用しやすい形（内房エリアや北部エリアからの直通便）の実証実験が行われるようになった。
公明会	結婚新生活支援事業  合計 1825万円	一般質問でも提案した新婚世帯への支援がいよいよスタートする。夫婦共に婚姻日の年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満（給与年収目安約550万円）で、婚姻した世帯の新生活に係る費用最大30万円（住居費・引越費用）を助成する事業。
蒼天	中小企業等実態調査事業  合計 900万円	中小企業振興基本条例の理念に基づき、市内の中小企業の経営環境、事業活動、雇用等の実態調査を5年ぶりに実施する。コロナ禍で苦境に立つ中小企業の支援策やアフターコロナに市内の中小企業が活性化する施策に結びつくことを期待する。
芙蓉	水門等管理事業  合計 2332万8千円	事業の中に老朽化した市街地の主要水門の改修工事費が含まれている。市内には約624の水門があり、毎年チェックされているが改修と修繕が必要な水門が増えている。 当市は河川が多いため治水管理が必要である。今後計画的に事業を実施していく必要がある。
至誠	体育施設整備事業 (山宮ふじざくら球技場 人工芝化設計業務) 合計 700万円	かねてよりの懸案事項であった、人工芝化により、サッカー場ほか球技スポーツに対応できる場所として、市民のスポーツ意識向上に大いに期待できる。

## 議会運営委員会

### 佐野 和彦 委員長コメント

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でありましたが、富士宮市議会においても感染対策をはじめ、それに対応した議会運営を行い、幸いにも感染者を出さずに終わることができました。

また、課題でもあった、富士宮市議会BCP（事業継続計画）も1月から運用開始となり、議会が機能する仕組みができました。

2月定例会は令和3年度予算を決める重要な議会でありましたが、補正予算を含め新型コロナウイルス感染症ワクチン対応が素早くできるよう予算に反映されており、今後の安心材料が増えたのではないかと思います。

その他、議会提出議案の再エネ導入推進条例の提出や、書類の押印から記名への変更など、時代に合わせた委員会条例の改正などを行いました。2月定例会の議決案件が市民の笑顔のためになることを祈ります。

## 総務文教委員会

### 議案の審査

●陳情第1号：日本政府が速やかに「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出についての陳情書

### 所管事務調査

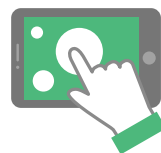
●市内小中学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況について

### 松永 孝男 委員長コメント

陳情第1号では、陳情者の趣旨説明を聞いた後、多くの委員から戦争の悲惨さと核兵器の酷さを後世に伝え、核兵器廃絶を訴え続けることは唯一の戦争被爆国としての義務であるなどの意見があり、全会一致で採択すべきものと決定しました。

その後3月17日の本会議でも全会一致で採択され、意見書の提出が決まりました。改めて核兵器廃絶について議論する機会を与えていただきました陳情者の皆様に感謝いたします。

また、市内小中学校におけるGIGAスクール構想の進捗状況は、令和2年度中に全児童生徒に対するパソコンの配備が完了し、令和3年度から実際に授業等での活用が始まります。急速に進むICT技術への積極的な参画意欲の醸成と同時に、人としての優しさも併せて育てていく指導を期待しています。



## 環境厚生委員会

### 所管事務調査

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 富士宮市一般廃棄物処理基本計画について（連合審査会）

### 中村 憲一 委員長コメント

半期ごとの市立病院の事業報告については、コロナ禍においても医師派遣要請のため浜松医科大学等を訪問し、成果として令和3年度から循環器内科、外科、産婦人科、麻酔科の医師が増員となり、診療体制は回復傾向にあります。また病院長から、今後は呼吸器内科に力を入れるとのこともありました。感染症対応については、入院患者全員に入院前PCR検査を実施し、自前のPCR検査機器も導入して安全安心を確保しています。今後はワクチン接種にも対応していく予定とのことでした。

一般廃棄物処理基本計画については、産業都市委員会と連合審査会を開催し調査を行いました。現行計画が令和3年度で終了し、令和4年度から10年間実施する計画の策定が求められています。脱炭素社会、ゼロカーボンシティの実現のためにも、廃棄物の発生抑制や資源化だけでなく、再生可能エネルギー源としての活用も視野に入れる必要があります。

## 産業都市委員会

### 議案の審査

- 議第8号：富士宮市経済変動対策貸付資金利子補給基金条例制定について
- 議第9号：富士宮市地域創生基金条例制定について

### 植松 健一 委員長コメント

2件の条例制定について審査を行いました。

1件目の「富士宮市経済変動対策貸付資金利子補給基金条例制定について」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内中小企業が県の経済変動対策貸付資金によって資金調達をした場合に、利子補給金を交付し、3年間は実質無金利で借入れができるようにするもので、その財源として地方創生臨時交付金を充てるため基金を創設するものです。

2件目の「富士宮市地域創生基金条例制定について」は信金中央金庫からの企業版ふるさと納税の寄附金を市の行う「ビジネスコネクつじのみや事業」の財源とするため、基金を創設するものです。この事業は、市、芝川商工会、富士宮商工会議所、富士宮信用金庫が協定を締結し、企業の知的財産、新規事業、事業課題解決を支援・補助するものであります。

審査の結果、いずれの条例についても可決すべきものと決定しました。

### 政策課題

### 富士宮市が目指す地域循環共生圏について

政策課題について詳しく知りたい方は、議会だより令和元年9月号をご参照ください。



環境厚生委員会は今回の2月定例会の議案として「富士宮市再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例」を提出しました。そして、定例会最終日の3月17日に審議され、全会一致で可決となりました。これは、**富士宮市議会としては初めての、常任委員会**が提出した新規の政策条例の制定です。

### 【富士宮市再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例】ってどんな条例？

この条例は、地球温暖化対策のために、再生可能エネルギー導入の推進による脱炭素社会の実現と、持続可能な社会の構築に役立つことを目的としています。脱炭素社会の実現を目的とする条例は全国的にも珍しく、静岡県内では浜松市に次ぐ2番目の条例です。しかし現在、脱炭素社会の実現に向けた取り組みは全世界的に求められています。

条例には、市民、事業者、市(議会)が取り組むべきことや、再生可能エネルギーの導入を推進するための計画の策定をはじめとする、市の基本的な取り組みを記載しています。



調べてみよう：①再生可能エネルギー ②パリ協定

条例全文はこちら→



©富士宮市さくやちゃん

### 【地域循環共生圏】って何？

各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。(環境省HPより抜粋)

富士宮市は令和元年5月に、環境省が公募した「地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体(全国35団体)」に選ばれるなど、積極的に取り組んでいます。

### 【条例提出の背景】こんな思いで作りました！

近年、世界各地で干ばつや集中豪雨、大型化した台風等の自然災害が発生し、日本国内においても各地で甚大な被害をもたらし、多くの人命や財産が失われています。このような異常気象の原因の一つが、二酸化炭素を含む温室効果ガスであると言われています。

菅首相は、この温室効果ガスの排出を2050年までに全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すことを表明しました。また、環境省は全国の首長に「ゼロカーボンシティ宣言」を呼びかけるなど、環境への早急な対応が求められています。富士宮市においても令和3年1月に須藤市長がゼロカーボンシティに取り組むことを宣言しました。

環境厚生委員会が1年8か月にわたり調査、研究してきた政策課題である地域循環共生圏づくりは、脱炭素社会やSDGsの実現につながるもので、再生可能エネルギーの活用が必要不可欠です。市をはじめ市民の皆様や事業者の皆様が、再生可能エネルギーを導入していくことの必要性を認識するとともに、導入を推進するための基本方針を定め、各々が担う責務を明確にしなければならず、そのためには条例を制定する必要があるとの結論に至りました。

今回の条例の制定は、ゴールではなくスタートです。みんなで協力し合い、今を生きる私たち、子どもたち、そして未来に生きるすべての人たちが、美しい自然環境のもとで快適に暮らし続けられるよう努力していきましょう。



## 政策課題 滞在型観光について

政策課題について詳しく知りたい方は、  
議会だより令和元年9月号をご参照ください。



### 市への政策提言書内容

- 1 東海自然歩道、小田貫湿原をはじめとした既存の周遊施設、インフラを魅力あるものに再整備していくこと。また、キャンプなどで使用する食材等を入手できる施設や仕組み等を朝霧エリア内に整備していくこと。
- 2 地域のクーポン券など来訪客に消費を促し、市内における経済の好循環を創出する仕組みを研究し、実行していくこと。
- 3 猪之頭公園にイベント会場、ワーケーション受入場所、各種観光情報発信基地など、より多くの機能を持たせて、朝霧エリアの観光拠点となるように整備、運営をしていくこと。
- 4 自然療法の活用や感染症対策の施設認証制度など、アウトドアレジャーにおける付加価値を生み出す取組について、研究していくこと。また、林業体験や自然保護活動などアウトドア活動に繋がるようなイベント等を積極的に行っていくこと。
- 5 雄大で神聖な富士山の麓というロケーションを生かし、アウトドアレジャーの聖地となるようなシティプロモーション等、効果的な情報発信を行うこと。また、知名度のあるアウトドアメーカーを誘致してイベントを行うなど、アウトドアメーカーの発信力の活用を研究していくこと。

### 提言書を受けての須藤市長の言葉

富士宮市は、保有する素晴らしい自然環境などを生かして、本市独自の発展をしていきたい。良い提案をいただいたので、市は議会と協力し、ダイナミックなことをやりたいと思っている。



### 【提言書提出の背景】

富士宮市は通過型観光の側面が強く、観光客の旅行消費額の大きさや地元への経済的還元は十分とはいえません。今後、滞在型、滞留型観光に変えていく必要があるという課題意識から、令和元年7月に「滞在型観光について」を政策課題として設定しました。

当初、市内観光施設等と意見交換を行いながら、いかにして、滞在型、滞留型観光へ変化させ、集客も図りつつ、旅行消費額を伸ばすかについて、議論をしてみました。

しかし、令和2年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により、観光に関する社会状況が一変しました。そのため、令和2年度からはアフターコロナを見据えた本市の観光の在り方を新たな視点として追加し、議論を行いました。

コロナ禍においてもアウトドアレジャーは比較的安心なレジャーとして社会的に認知され、利用客も増えており、アフターコロナの時代においても大勢の人が楽しめるものとして残っていくと予想されます。また、本市の雄大で神聖な富士山の麓はアウトドアレジャーを楽しむ場所として非常に魅力的なエリアであるといえます。

これらのことから、本市がアウトドアレジャーの聖地と認知され、大勢の来訪客を呼び込めるようになるとともに、広く市内に経済的還元が図られるようにすることを目指すべきとの結論に至り、上述のとおり提言を行いました。

#### 課題分析実績

委員会開催…19回  
勉強会開催…4回  
視察開催……1回

## 2月定例会の一般質問

18人の議員が1人1時間の持ち時間の中で、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。



### ▶佐野 和彦 議員 →P11

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・ゼロカーボンシティ

### ▶辻村 岳瑠 議員 →P11

- ・子育てしながら働きやすい環境
- ・コロナ禍の医療提供体制

### ▶中村 憲一 議員 →P12

- ・コロナ禍で影響を受けている外食産業
- ・成人式の中止の影響と代替事業
- ・ゼロカーボンシティ

### ▶近藤 千鶴 議員 →P12

- ・LGBTQIAと制服の自由
- ・新稲子川温泉ユー・トリオと内房地区の活用

### ▶諏訪部孝敏 議員 →P13

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・障がい者施策の計画及び諸課題
- ・南部地域の通勤渋滞解消と道路改良

### ▶植松 健一 議員 →P13

- ・ゼロカーボンシティ
- ・富士宮市の顔

### ▶小松 快造 議員 →P14

- ・小中学校での危機管理指導
- ・コロナ禍の子どもへの心理的影響
- ・これからの農業
- ・ゼロカーボンシティ

### ▶深澤 竜介 議員 →P14

- ・新型コロナワクチンの接種
- ・歯と口の健康づくり
- ・修学旅行の受入れとNHK大河ドラマ

### ▶齋藤 和文 議員 →P15

- ・コロナ禍、コロナ後の対応と要望

### ▶遠藤 英明 議員 →P15

- ・令和3年度富士宮市予算編成
- ・脱炭素2050年へ

### ▶松永 孝男 議員 →P16

- ・コロナ禍を乗り越えるために

### ▶鈴木 弘 議員 →P16

- ・認知症にならないために
- ・森林における新たな取組
- ・ゼロカーボンシティとSDGs

### ▶望月 則男 議員 →P17

- ・県道75号
- ・芝川中学校校舎改築事業

### ▶若林志津子 議員 →P17

- ・デジタル化について
- ・避難所生活

### ▶佐野 孜 議員 →P18

- ・北部地域自然環境の保全と観光資源
- ・富士登山の方向性
- ・学校教育環境の整備

### ▶渡辺 佳正 議員 →P18

- ・クラスター防止対策
- ・新型コロナウイルス
- ・コロナ禍の雇用実態と支援制度

### ▶野本 貴之 議員 →P19

- ・学校教育の充実と取組
- ・図書館の読書バリアフリー

### ▶稲葉 晃司 議員 →P19

- ・富士医療圏の現状と課題
- ・富士宮市消防団の環境

■ 発言項目総数

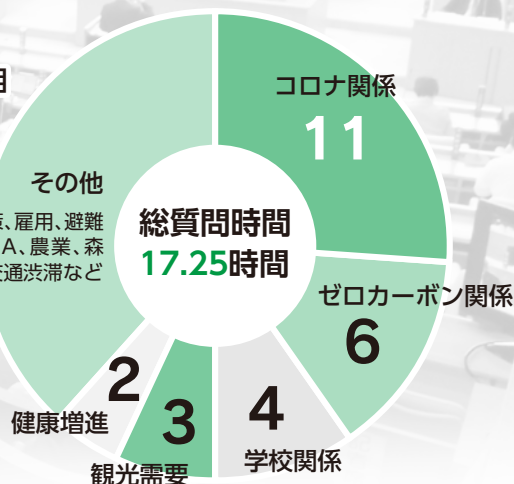
42

42の発言項目の内訳

■ 発言要旨(小要旨含む)総数

213

その他  
障がい者施策、雇用、避難所、LGBTQIA、農業、森林、消防団、交通渋滞など





※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。

議員所属の会派名は、2月定例会時の会派名を掲載しています。



さの かずひこ  
**佐野 和彦** 議員  
(富岳会)

## 新型コロナウイルス感染症に関する事実認識と同調圧力と群集心理

**問** ワクチン接種をどのようにしていくか。

**部長** 4月26日以降に65歳以上の施設入所者に、入所者以外は、5月10日以降に市内5か所で接種予定。以降順次、基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者、64歳以下の方への接種を予定しているが、現時点では時期等は未定。

**問** ワクチン接種を正常な判断で促すには。

**部長** 市民にワクチン接種の目的や副反応等の情報を広報、新聞、ホームページ等で広く伝えコールセンターでも相談できる体制を整える。

**問** ワクチン接種は任意か強制か。

**部長** 任意であり、最終判断は市民である。

**意見** 接種後、副反応が多く出た場合には、国や県の判断を待つことなく、現場の判断で中止

することなどを決めていただきたい。

## ゼロカーボンシティと自動車の今後

**問** 市内の企業にどのような影響があるか。どのような協力を求めるのか。

**部長** 脱炭素の実現は日本全体の目標のため、市内の企業に限定した影響はない。まずは徹底した省エネ対策を行い、各企業の実情に応じて取り組んでいただくように働きかける。

**問** 以前から公共施設に充電スタンドの設置を提案してきたが、検討できないか。

**部長** 令和2年4月時点で市内にはPHV車141台、EV車164台が登録されている。市内の充電スタンドは26か所、充電器は30基。現時点で公共施設への設置は考えていないが、状況を見て近隣市町との広域的な連携も含め検討。

**問** 火力発電で作った電気をどう思うか。

**市長** 電気を作るために二酸化炭素を増やすのでは意味が無い。飛躍的なエネルギー革命が必要だが、一つ一つ課題をクリアし、ゼロカーボンシティを成し遂げたい。



つじむら たける  
**辻村 岳瑠** 議員  
(至誠)

## 子育てしながら働きやすい環境づくり

**問** 出産、子育て世代の中心となる20歳～39歳の女性人口が全国平均を下回っている。改善する具体策はどのように実施しているのか。

**部長** ふじのみやベビーステーション事業、妊娠・出産・子育てシェアサポート事業、子育て世代包括支援センター運営事業。PR事業としては、「就活女子のUターン編」を作成、発信。さらに、令和3年度から新たに、結婚新生活支援事業や子育て応援ヘルパー等派遣事業を組入れ、出会いから結婚、出産、子育てまで切れ目なく支援し、これまで以上に力を入れていく。

**問** 子育て世代を、移住・定住につなげるインパクトに欠けている。0～2歳の保育料を無償化する考えはいかがか。

**部長** 全体を見て慎重に考えていく要素があ

る。給付系の施策として、今のところまだ議論の中にとどめている範囲である。

**問** 放課後児童クラブの指導員の賃金など、待遇面を改善し、指導員の後継者不足、若者世代が働く場所として興味を持てる環境にするべきと考える。

**部長** 現時点では待機児童がいないこと、指導員が不足している状況ではないという中で、放課後の遊びと生活の場として安心して過ごせる状況を維持できるよう努める。

## 長期化するコロナ禍、医療提供体制の維持の観点から、感染症対策病棟の働き方について

**問** 市立病院の感染症対策病棟の看護を、一部の看護師ではなく、ローテーション制で看護する仕組みを提案するがいかがか。

**部長** 4か月程度で人員の一部を入れ替え、職員の負担を軽減している。一時的に入院患者が増加した場合は、リリーフを行う看護体制を構築し、万全な人員配置と感染対策で看護を行っている。



なかむら けんいち  
**中村 憲一** 議員  
(令和)

## コロナ禍で影響を受けている外食産業の実態とサクヤ長屋門ダイニングの今後について

**問** 外食産業に対して、テイクアウト、デリバリーを含めた新たな支援策を検討しているか。

**部長** 飲食等事業者事業継続応援給付金の交付、地域経済喚起のためのプレミアム付き商品券事業等を実施。外食産業がテイクアウトやデリバリー等新たな業態を取り入れ事業継続することに対する支援の必要性については、今後国の補助制度も注視していきたいと考えている。

**問** サクヤ長屋門ダイニングの3か月間の協議休業に対して賃料が発生しない法的根拠は。

**部長** 賃貸借とは目的物を有償で使用収益させることであり、賃料は目的物の使用収益に対する対価として支払われるものである。よって、同店舗が自身の責めに帰さない理由により、一時的に使用収益しない期間に対し、市が賃料を請求しないことは法的に何ら問題ない。

時的に使用収益しない期間に対し、市が賃料を請求しないことは法的に何ら問題ない。

**問** 3か月の賃料の免除とは、実質的に69万円の経済的支援である。公平性の観点から他の外食産業にも同等の支援策は検討できないか。

**部長** サクヤ長屋門ダイニングと市の1対1の契約であり、色々な事情、過去の経緯、お互いの人間性、関係性の中で色々な状況がある。契約自由の原則、民法の原則に基づいて、契約によってこれは免除ではなく、両者協議の上での判断である。他の事業者との公平、公正ということではなく、個々の契約に基づくものである。

**問** 使用収益が発生しないので、69万円の賃料を徴収しないという理屈は詭弁だと考える。他の外食産業から見れば、公平性を欠いていると言われても仕方ない事案である。何が行政をしてそこまでこの業者を優遇せしめるのか。

**部長** 食のまちづくりに取り組む事業者に対するエールを送る意味での契約の判断であり、特定の事業者をひいきするようなものではない。



こんどう ちづる  
**近藤 千鶴** 議員  
(令和)

## 高校生議会での「LGBTQIAと制服の自由」の提言について

**問** 機能性、国際性、多様性の視点でスラックスの選択制や制服自由化を求めるがいかがか。

**教育長** スラックスについては、多様性を踏まえ新制服としての追加は教育的意義を踏まえ価値がある。制服自由化は、いじめ防止の観点から制服のほうが有効で中学生には制服が必要。

**問** 高校生議会で新しい制服について「前向きに検討する」と答弁しているが、今後の予定は。

**教育長** すでに検討している学校もある。教師主導でなく生徒の必要感や自主性を大事にする。

**問** LGBTQIAの友人がいて、身近に感じているという高校生議員の発言についてどう思われるか。

**教育長** 高校生が問題意識をもって発言したことを大変うれしく思う。

**意見** 制服の問題は人権の問題。LGBTQIAの方だけの問題でなく、機能的なユニバーサルの視点で考えてほしい。選択制について教育委員会として大きな姿勢を示していただきたい。

## 新稲子川温泉ユー・トリオと内房地区の活用について

**問** 再開に向けてユー・トリオの進捗状況は。

**部長** 6月の再開を目標に進めている。

**問** 温泉つきキャンプ場を提案するが。

**部長** 土砂災害警戒地域や騒音のため難しい。

**問** 境川・稲瀬川・富士川の合流地点の散策道を中心とした土地利用はできないか。

**部長** 建築物を伴わない土地利用が可能だが、洪水時浸水想定区域なので安全面で検討が必要。

**市長** 一番危険なところなので安心安全を考え、市で何かしようとは考えていない。

**意見** 台風等の災害用に作られているグラウンドや河川敷もある。できないよりも、どうしたらできるかという視点で考えてほしい。内房は富士宮の西の玄関として変わっていく地域。



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。



すわべ たかとし  
**諏訪部 孝敏** 議員  
(至誠)

## 新型コロナウイルス感染症に伴う対応と対策について

**問** 新型コロナウイルス感染症対策と経済の両立について市長の考えを伺う。

**市長** 全国で初めて保健所のない自治体での独自のPCR検査場の設置や、無症状者のPCR検査の実施等、しっかりとブレーキを踏んでいるからこそ、感染防止対策と経済活動の両立ができていていると思っている。

## 障がい者施策の計画及び諸課題について

**問** 障がい者施策の新たな取組や計画が必要であると思うが、当市の考えについて伺う。

**部長** 障がい児、障がい者が住み慣れた身近な地域において、よりよい生活を送るために、それぞれのサービス提供機関の連携強化を図るとともに、利用者の多様化したニーズに対応する

ため、事業所の提供するサービスの質の向上を図ることが必要であると思われる。また、計画相談支援においては、障がい児、障がい者の方の福祉サービス利用の需要増加に計画の対応が追いついていない状況も課題である。

## 南部地域の通勤渋滞の解消及び市内の事故の多い道路の改良全般について

**問** 富士・富士川・山梨方面からの通勤者が南部地域を通過して各工業団地及び商業施設や事業所へ通勤している。その際、発生している通勤渋滞について当市の考えを伺う。

**部長** 交通渋滞の原因は、通勤のみならず、通学のための送迎やその他の目的の移動が複合的に重なり、結果的に渋滞が発生している。市はこれまでも、通勤による朝夕の渋滞等の状況を市内の企業に向けて説明してきたが、各企業の生産現場等の状況が異なるため、一様の対応はできていない。今般コロナ禍において、働き方を見直す取組の中で、テレワークや時差出勤等の推進を働きかけていきたいと考えている。



うえまつ けんいち  
**植松 健一** 議員  
(芙蓉)

## ゼロカーボンシティ実現に向けて

**問** 官民協働の下、市民の意識の醸成が必要不可欠と感じるがどのように考えるか。

**部長** ゼロカーボンシティの実現は市域全体に関わるものであり、市民や事業者がともに取り組む必要がある。周知広報活動を通じて市民により一層の理解と協力を促し、脱炭素社会の実現に向けて「オール富士宮」で取り組む機運の醸成を図っていきたい。

**市長** 市民を先導する意味で市が率先して事業を進めていくことは大事である。まずは市が一つの固まりになってプロジェクトチーム等をつくって進めていかないと、2050年までに達成できるものではないと認識している。市が積極的にリーダーシップを取って進めていくことが必要だと考え、市も頑張っていきたい。

**問** 今後公用車の電動化についてどのように考えているか。

**部長** 現在、市では電気自動車2台、ハイブリッド車8台、うちPHV車2台を保有している。車両交換時期に合わせて導入を進めていきたい。

**問** 市がゼロカーボンに本気で取り組んでいる姿勢を示す意味で低公害車にペイントをして積極的に市民にアピールしてみてもどうか。

**市長** ゼロカーボンシティを宣言したからには、実現のため前向きに進めていくということをPRするのも大事である。保有しているガソリン車であってもPRに使って構わないと思う。

## 富士宮市の顔について

**問** 富士宮駅北口前広場のペDESTリアンデッキの活用を提案するがいかがか。

**副市長** デッキ上の看板は利用者が迷わないようにという意味でつけてきたのが現実です。令和3年度からデッキ下のロータリーも含めて見直しを行なう計画であるので、貴重な意見として反映していきたい。



こまつ かいぞう  
**小松 快造** 議員  
(富岳会)

## これからの農業について考える

**問** 日本の農業（農家）にはたくさんの課題があると思う。離農や高齢化による担い手不足、3K（きつい、危険、汚い）の代表的な職業イメージが強い農業について伺う。①大規模生産・少量多品種生産、富士宮市における生産方法はどちらが適していると思うのか伺う。②「稼げない」ことに若者たちの離農、後継者不足など、農業の不安材料があります、稼げる農業にするためには何が必要と考えるのか。③新たな販売・販路（流通）を見出すことは出来ないか伺う。④生産緑地制度について伺う。

**部長** ①富士宮市では大規模生産と少量多品種生産のどちらが適しているかについては、一概に良いというよりも、各農業者の経営方針によ

りどちらも適している。②今後新規就農者を増やすために、農業に対する悪いイメージを払拭し、農業者の所得を増やす施策が重要と考えている。スマート農業の導入については補助事業を若い担い手を中心に活用を期待する。農地の集積・集約を推進し、経営や技術、資金、農地の課題に対し関係機関とともに支援し農業者の所得向上に努める。③令和4年4月には、東部8農協の合併が予定されており、農産物の集約化による販路の拡大が予想される。市としても販路の拡大とともに、富士宮ブランドの確立とPRに努める。④市街化区域にある農地は、市街化調整区域内農地に比べ、固定資産税の税額は50～100倍程度高くなっている。平成3年大都市地域を中心に市街化区域内農地の積極活用を目的として生産緑地法が改正された。課税の問題、地域性も含め大きな課題だと感じている。



ふかさわ りゅうすけ  
**深澤 竜介** 議員  
(令和)

## 新型コロナワクチンの接種について

**問** ワクチン接種の具体的なスケジュールはどうなっているのか。

**部長** 4月26日以降に高齢者施設の入所者を対象に接種をスタートし、5月10日以降に65歳以上に接種できればと考えている。接種券を配布する時期は、ワクチン確保の目途がついてからと考えている。

**問** 1日当たりの摂取人数は何人ぐらいと考えているのか。

**部長** ワクチンの供給状況もあるが、400人程度と考えている。

## 歯と口の健康づくりについて

**問** 市民の健康づくりのためには、口腔機能の向上が重要だと思っていたところに、今回、歯科口腔保健計画が強調されたことは素晴らしい。

い。その意図は何か。

**部長** 富士宮市は、子供の虫歯は減ってきているが、大人の歯周病は増加傾向にあり、オーラルフレイル（飲み込みの悪さや口の中が弱った状態のこと）の認知度も低く、歯科口腔保健が重要だと考えた。

**問** かかりつけ歯科医を持つようにする考えはないか。

**部長** 歯についても定期的な検診を行う必要があり、そのためにはかかりつけ歯科医が必要であるということを知ってほしい。

## 大河ドラマへの対応について

**問** 「鎌倉殿の13人」「どうする家康」と2年連続富士宮市とゆかりのある人物が大河ドラマで取り上げられるが、それらへの対応はどうなっているのか。

**部長** 静岡県が中心に、東部伊豆の20市町と観光関係団体・商工団体で連絡協議会が設立された。富士宮市としては市役所内の関係6課で作業部会を立ち上げた。



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文** 議員  
(公明会)

## コロナ禍・コロナ後の対応と要望について

**問** イベント・各種スポーツ大会の開催やプール営業再開の判断基準とタイミングについて。

**部長** 国の新型インフルエンザ特措法の下、市は国・県の方針に基づき、市主催は担当課の対応方針、各種団体の場合にはガイドラインに沿って、延期や縮小・開催の可否を判断している。開催する場合には徹底した感染防止対策をとる。

**部長** 各種スポーツ大会については、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の考えに基づき最終判断は市で行っている。プールについては、屋内プールは3密を避け、人数制限・時間制限を設けて令和2年度は営業。令和3年度においても同様の考えで営業を行う。屋外プールについては令和2年夏、保安要員の確保が難しいとの判

断から、市対策本部に諮り中止を決定した。

**問** 公園への露店等の出店は可能か。

**部長** 都市公園法・市都市公園条例において、公園管理者の許可が必要となる。出店面積により公園占用許可及び使用料が発生する。

**問** お祭りが中止となり、露店商やキッチンカー等の出店者の金銭以外の支援策は何か考えているのか。

**市長** 何かのイベントに抱き合わせする形で考えていくしかない。非常に難しいが検討はしていきたい。

**部長** 例えばイベント的に仕立てをしながら、露天商やキッチンカー等の販売を創出する検討を進めていきたい。

**問** パルスオキシメーター※の導入について。

**部長** 自宅療養者用に県が貸し出しを行っている。県は600台所有、400台追加購入し合計1,000台確保。市として購入する予定はない。

※パルスオキシメーターとは、皮膚を通して動脈血酸素飽和度を測定する機器。酸素飽和度の低下により肺炎の可能性を図ることが可能。



えんどう ひであき  
**遠藤 英明** 議員  
(蒼天)

## 令和3年度富士宮市予算編成について

**問** コロナ禍における2020年度決算予測（法人）をいかに捉え新年度予算編成をされたか。

**部長** 最終調定額から特例制度による徴収猶予額を差し引いた額に収納率を乗じた額を決算見込額とした。前年度比約30%減となった。

**問** 自主財源である市税について、法人・個人の算定根拠をどのように予測されたのか伺う。

**部長** 法人市民税は、新型コロナウイルス感染症による影響率を推計し、令和2年4月から10月までの調定額及び前年度の調定実績を基に算定した。個人市民税については、従業員への給与支払見込額が個人事業主、法人ともに約4%の減少であることに加え、国の緊急経済対策等による影響を考慮し、税制改正の影響額を加算した額を令和3年度予算額とした。

## 脱炭素2050年へ政府計画の原案から富士宮市の取組について伺う

**問** 国の「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出を全体としてゼロにすること）」に呼応した市の取組「ゼロカーボンシティ（2050年までに脱炭素化を目指すこと）」を行う背景は。

**部長** 国を挙げて「ゼロカーボンシティ」を目指す自治体を支援する方針を打ち出したことから、国の動きに呼応して脱炭素社会の実現に貢献するため表明するに至った。

**問** 産業界は脱炭素宣言を最大のビジネスチャンスと捉えている。それには行政の支援が不可欠と思われるが、市ではどのような支援を考えているか。

**部長** 今後は積極的に温暖化対策を行う事が産業構造や経済社会の変革をもたらす大きな成長につながるという発想の転換が求められる。市では「富士宮市地域循環共生圏推進協議会」を設立し、地域資源を生かしたビジネスの創出を目指し、民間活力の向上を図っていく。



まつなが たかお  
**松永 孝男** 議員  
(富岳会)

## コロナ禍を乗り切るために

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種の体制、スケジュール、費用負担について伺う。

**部長** 新型コロナウイルスワクチンの集団接種は土曜、日曜を中心に、保健センター、市立病院、旧東京電力の建物、白糸自然公園体育館、芝川B&G体育館の5会場で行う予定。16歳以上の全市民が対象だが希望者のみの接種となる。4月26日以降に高齢者施設の入所者からスタートし、5月10日以降に65歳以上の高齢者の接種を始める。接種は無料で、接種に係る事務費も含めて全て国が負担する。

**問** 小中学校のリモート授業の取組について。

**教育長** 令和3年3月までに全ての児童生徒にパソコンが導入される。その後パソコンの使い方を指導し、5月中旬から家に持ち帰り

リモート授業に対応できるようになる計画。また、保護者向けのパソコン使用マニュアルを作成し、小学校低学年でもリモート授業ができるよう準備していく。

**問** 運動会、文化祭、修学旅行などの大きな行事について伺う。

**教育長** 学校行事は教育活動の中で大変有意義なものであり、コロナ禍においても時期、場所、方法などを考慮し、各学校の実態に応じて実施していくことが重要と考えている。

**問** 観光、飲食、イベントなど著しく売上が低下した事業者の緊急支援策について伺う。

**部長** 経営が悪化している飲食店、観光業、宿泊業、タクシー業、代行業に対して1事業者当たり20万円の事業継続応援給付金を給付している。また、富士宮市観光業連絡協議会が企画した旅行事業等に対する補助金を400万円増額し、1年間事業を延長する。さらに市内の消費を喚起するために、前回同様プレミアム率50%の商品券事業を早急を実施する。



すずき ひろむ  
**鈴木 弘** 議員  
(至誠)

## 脳の健康寿命を延ばす対策～認知症予防～

**問** 認知症予防に大切なことは。

**部長** WHOでは12の対策を推奨している。①定期的な運動の実践、②禁煙、③健康的な食生活、④過度な飲酒の抑制、⑤体重の管理、⑥高血圧の管理、⑦高血糖の管理、⑧脂質異常の管理、⑨うつ管理、⑩聴力の管理、⑪知的活動、⑫社会活動を挙げている。

**問** MCI(軽度認知症)はいかに発見されるか。

**部長** MCIとは、正常と認知症の中間の状態、物忘れはあるが日常生活には支障がない状態をいい、このうち10～30%の方が認知症に進行する。MCIの発見には気づきが大切。認知症サポーター養成講座や健康講座などを通じて、多くの市民の方に認知症を正しく理解していただくことで、ご家族だけでなく職場等でも周囲

が早めに気づいて、早期発見、早期受診につながるよう啓発活動を行っている。

**問** 認知症と飲酒の関係をどのように捉えているか。

**部長** 市内の認知症専門医に伺ったところ、アルコールを毎日毎晩飲み続けると脳委縮に影響があり、飲酒をやめた場合、元に戻る可能性もあるとのことだった。



## 森林における新たな取組

**問** 山林を舞台にした健康寿命延伸のためにクアオルト健康ウォーキングという施策がある。検討したらいかがか伺う。

**部長** 健康づくりのためのきっかけや動機づけといった側面もあると思われることから、今後、他市の取組を含めて研究していきたい。





※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。



もちづき のりお  
**望月 則男** 議員  
(富岳会)

## 県道75号について

**問** 新東名高速道路、新清水ICへの接続における富士宮市の戦略的な活用方法はいかがか。

**部長** 周辺は、急傾斜地が多いことから防災・水資源保全地域に位置づけられており、防災及び水資源の保全に支障となる大規模な造成を伴う土地利用事業の施行は認められない。しかし、県道75号の整備が完了されれば、県道を生かした沿道サービス施設、物流倉庫などの許可基準に適合したものは立地できると考えている。

**問** 国道469号が広域連携軸、県道190号が都市連携軸、県道75号は地区の骨格軸ということで設定されているが、優先順位として西の玄関口は国道469号が優先になるのか。

**部長** 拡幅工事等で県道75号が完成すれば位置づけも変わってこようかと思う。次期総合計

画の見直しの中で、この道路の位置づけ、考え方が変われば反映してくる。

**市長** 県道75号が西の玄関口と言うにふさわしい形にしていきたいという思いを、県のほうへ話していきたいと思う。

**意見** 県道75号線を西の玄関口と位置付けるのであれば、玄関口としてふさわしい整備を県に要望してほしい。

## 芝川中学校の校舎改築について

**問** 今後、人口減少による芝川地区の学校統廃合は考えているのか。

**部長** 学校統廃合は将来的な課題と認識しているが検討はしていない。校舎の改築にあたり、将来的に発生する空き教室の活用については、設計段階から工夫していく。

**市長** 統廃合は今では考えていない。芝川中学校は芝川地区の中心地域。地域の拠点学校は残すべき。10年、20年後を考え設計することが大事。

**部長** 市長からは、皆さんが愛着を持てる、個性ある建物を、との指示をいただいている。



わかばやし しづこ  
**若林 志津子** 議員  
(日本共産党議員団)

## デジタル化で行政・暮らしはどう変わるのか

**問** 国が進めるデジタル化で、今まで築き上げてきた市独自の施策はどうなるのか。地方自治体が国の下請け機関になってしまうのでは。

**部長** 全てを標準化するのではなく17の主要業務の標準化を進める。市独自の施策は、市として解決できると考える。

**問** 国は2022年度(令和4年度)末までに、ほとんどの住民のマイナンバーカード保有を目指すとしている。仮に全ての住民が保有していない状況となった場合の対応策はあるのか。

**部長** より多くの人にカードの保有を促進するため、市役所で顔写真の無料撮影、出張申請などに取り組んでいきたいと考えている。

**問** 国は「官民が協力して、相互のデータの利活用」と言及している。市としても市民の

データが民間で使われる事態に向けて個人情報保護について議論すべき。

**部長** 自治体が保有する情報は個人情報を含むものが多く、単純に供用や公開することは難しい。国の動きを注視し、個人情報保護条例に基づく、個人情報管理の方針との調整、問題点の整理を行っていく。

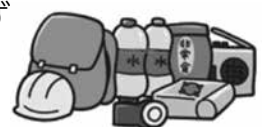
## 避難所生活を快適に過ごすための改善

**問** 段ボールベッドの導入計画と段ボール会社との防災協定は結んでいるのか。

**部長** 段ボールベッドを備蓄する計画はないが、避難所で睡眠を取るのに有効な資材のため、民間事業者と災害応援協定を締結している。災害時には必要に応じて提供してもらえる。

**問** トイレの配置はどのようになっているか。

**部長** 避難所用の仮設トイレとして便座を7台設置できるテントトイレを、避難所ごとに男女別に各1張り、計2張りずつの導入を進めている。





さの  
**佐野** あつし  
**孜** 議員  
(富岳会)

## 朝霧高原における富士山の絶景ポイント対策

**問** 富士山と放牧牛の撮影による渋滞対策。

**部長** 国道事務所・警察の連携で違法駐車対応。

**市長** 永年の問題。地権者の協力など幾つかの課題が解決できれば、広い駐車場を造りたい。

**問** 売却された既存のバイオマス発電施設の利用方針とふん尿処理対策の方向。

**部長** 施設は環境省が競売し県外の民間業者が落札。今後の利活用は、現段階では不確定要素が多分で事業者を考え方を聞いている。また、この実証実験により、ふん尿処理に対する意識改革や消化液の肥料効果等のメリットが見えた。

**意見** 家畜の肉と乳は人間の栄養。ふん尿は大地の栄養。朝霧高原は富士宮市の顔と捉える。

## 令和3年度の富士登山の方向性について

**問** 人数制限・入山料・宿泊客の受入体制は。

**部長** 人数制限の話は聞いていないが、登山の休日から平日への平準化を図る。入山料はないが、保全協力金は任意で1千円を予定。表富士宮口登山組合の取組として、感染症対策で山小屋の宿泊定員を2～3割減少させる方向。

## 学校教育環境の整備について

**問** 令和2年度の教育活動の成果は。

**教育長** 教育活動や学校行事に様々な感染症対策を講じた結果、臨時休業も無く、入学式や運動会は全ての小中学校で実施。富士山学習も地域と教室をインターネットでつなぎ実施。

**問** 令和3年度の教育委員会の取組方針は。

**教育長** 基本的な感染症対策を実施し、令和2年度に実施できなかった活動を令和3年度は実施できるよう検討をお願いする。1人1台パソコンを活用し、不登校対策を考えていきたい。

**問** 学校の一斉消毒はどう考えているか。

**教育長** 消毒は毎日している。感染症が発生した場合は、すぐに一斉消毒できる体制を作っている。



わたなべ よしまさ  
**渡辺 佳正** 議員  
(日本共産党議員団)

## 市立病院や福祉施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した場合の対応は

**問** クラスターが発生した富士市立中央病院の事例をどう生かすのか。

**病院長** 県や保健所と連携して、「ふじのくに感染症専門チーム」や「災害派遣医療チーム」の派遣要請も視野に入れて対応する。

**問** クラスターが発生した場合、市立病院の感染状況・対策などの情報提供は市当局の役割だと考えるが、市長の認識を伺う。

**市長** 中央病院の例もあるので、病院との情報交換、市民への呼びかけなど、市が危機感を持ってやっている姿を伝えていきたい。

**問** PCR検査陽性者の有無にかかわらず、高齢者施設の社会的検査を行う姿勢はあるか。

**部長** 仮に高齢者施設で、1人でも発熱などの

症状が出た場合、必ずPCR検査して、陽性が確認されたら、施設全体のPCR検査を実施する。

## 新型コロナウイルス感染症自宅療養者対応は

**問** 保健所と連携して自宅療養者の対応に取り組んでいるのか。

**部長** 自宅療養者などの個人情報には保健所から市に提供されないが、場合によって、保健所からの要請があれば連携して取り組んでいく。

**問** 自宅療養者の容態急変時の対応は。

**部長** 保健所が24時間体制で電話対応している。連絡すらできない場合は、ちゅうちょせず救急車を呼んでいただきたい。

## 生活保護申請時の扶養の照会について

**問** 経済的援助につながらない扶養の照会（親・兄弟・親戚への援助可否の問合せ）は、やめるべきではないか。

**市長** 確認すること自体が無駄骨のような状況にあり、法的に縛りもないので、よくよく検討したい。





※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。



のもと たかゆき  
**野本 貴之** 議員  
(芙蓉)

## 令和2年度コロナ禍の小学校の英語教育

**問** 令和2年度の小学校の英語教育の成果と課題、今後の取組について伺う。

**教育長** 当初の年間指導計画は、臨時休業とコロナ禍の対応で修正されたが、コロナ禍に対応した授業を進めることができた。課題はコロナ禍でコミュニケーション力の向上のための指導が十分にできなかったこと。各校ではICTの活用や発話方法の工夫等で直接対話しないのできる工夫をしている。これらの実践を共有し、英語教育のさらなる充実を目指していく。

**問** 英語教科の評価の取組について伺う。

**教育長** 英語は話すことが一番重要なので、どう評価するかは小学校の先生方は今まで経験したことがない。3月に検証をしている。

## 図書館の読書バリアフリーの推進を！



いなば こうじ  
**稲葉 晃司** 議員  
(蒼天)

## 富士医療圏の現状と課題そして今後 地域医療を守るために～2021～

**問** 富士宮市立病院でクラスターが発生した場合の対応はどうか。

**病院長** 1つの病棟で1人の感染が判明した場合、院内対策本部を立ち上げその病棟を閉鎖し当該病棟への新規入院患者受入れを中止する。入院を予定していた患者さんについても延期していただき、救急患者の受入れもできなくなる。また、濃厚接触者の確認を行いPCR検査の結果5人以上の陽性者が発生した場合、クラスターの発生となり発生した病棟を感染対策病棟とし、院内を陽性者のレッドゾーン、疑似感染者のイエローゾーンにエリア分けし、14日間の新規陽性者が発生しない状況までその病棟の管理閉鎖を行う。

**問** 図書館の読書バリアフリーの現状の対応と課題について伺う。

**部長** 図書館では資料の提供を中心に障がい者サービスを行っている。また、ボランティア団体の皆様に毎年、点字図書や録音図書を作成して図書館に寄贈していただいている。課題は所蔵資料が少ない、電子書籍などインターネットを活用した読書環境の整備が進んでいないこと。障がいがある方のニーズに合ったサービス提供について今後検討していく。

**問** ディスレクシア<sup>\*</sup>の小中学生が市内各校で約50名在籍している。学校図書館と各市立図書館と読書バリアフリー連携について伺う。

**部長** 学校図書館では、デジタイズ図書や音声読み上げ対応電子書籍等の配架が進んでいない。読書バリアフリーの推進に向けて、市立図書館と学校の連携の在り方を検討する。

<sup>\*</sup>ディスレクシア=学習障害(LD)の一つ。文字がばらばらに見える、書かれている文字を理解することが難しい、学習障害。

**問** 富士医療圏において公立病院は分散しているほうが感染症対策を展開していくうえで得策なのか。病院長の見解を伺う。

**病院長** 富士医療圏の新型コロナウイルス感染症への対応は当初、感染症指定医療機関の指定が2次医療圏で1病院、病床は6床であったため、病床数やマンパワーの不足により1医療機関では対応できなくなり、当院も感染症対策病棟を設置した。富士市立中央病院でクラスターが発生し、救急患者の受入れを12月中旬から1月中旬までの約1か月間で71件の受入れを行っており、こうした状況下で、公立病院が分散して存在する必要性が感じられた。富士圏域約40万人の診療域の中で、安定した医療の提供を考えた場合、富士宮市、富士市の双方に公立病院があり不採算医療や高度先進医療について、お互いの得意分野の充実を図り、双方で困難が生じた場合、協力し合うような病病連携を行い、富士医療圏の医療を確保することが重要で今回のケースはまさにその状況であった。



※代表質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年2月定例会を選択すると視聴できます。

## 蒼天 (そうてん)

えんどう ひであき  
(遠藤 英明 議員)

### 施政方針、市政運営の基本的姿勢

**問** コロナ禍前にも「そこ流」に流れていた動きが加速して顕在化する、すなわち働き方やデジタル化が一気に進み日本を活性化させる。働き方改革や、デジタル化をどのように進めるか。

**部長** 国の方針に沿って長時間労働の是正、非正規労働者の処遇改善等、働き方改革について市内企業へ周知を行う。また、令和3年度に第6次情報化計画でデジタル化の方向性を示す。

**問** 将来人口減少が危惧される富士宮市にとって企業誘致は最優先課題の一つと思われるがどのように考えるか。

**部長** 市街化区域内の工業用地土地利用状況や進出企業の動向を確認し、令和3年度に策定される地区計画適用の基本方針に基づき、地域の新たな産業基盤構築と企業誘致を推進する。

### 令和3年度重点施策

**問** フードバレー構想の食によるまちづくりで富士宮市はそれなりに知名度を上げてきた。「第1回フードバレーサミット」の概要を伺う。

**部長** サミットでは交流している自治体の市長等に参加していただき、関係自治体等と食のネットワーク化を強化する取組や相互の産業復興に結びつく取組について、パネルディスカッションと基調講演を実施する予定。

**問** 教育分野ICT利活用推進についてGIGAスクール構想による授業が始まるが、どのような変化があるか。また、成果に何を求めるか。

**教育長** 一人一台のパソコンの活用により、個別最適な学びと協働的な学びの実現を通して、主体的・対話的で深い学びの充実と児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指していく。

**問** ゼロカーボンシティの表明をしたが、将来のカーボン・プライシング（排出量取引等、炭素に価格をつけること）の導入は考えているか。

**部長** 国の動向を注視し、情報収集に努める。

## にほんきょうざんとうぎいんだん 日本共産党議員団

わたなべ よしまさ  
(渡辺 佳正 議員)

**問** コロナ禍で多くの市民が利用している生活福祉資金の返済はどうなるのか。

**部長** 生活福祉資金の貸付け主体は静岡県社会福祉協議会である。返済据置期間は令和4年3月まで延長され、返済免除についても的確に運用されるものと考えている。

**問** 新型コロナウイルスの簡易検査キットの導入は考えているのか。

**部長** 通常のPCR検査に比べ精度が低く、擬陽性による混乱が懸念されるので、現行のPCR検査を継続活用する。

**問** コロナ後の社会を見据えて、どのような事業が当市で求められると考えているか。

**部長** 医療・保健・福祉体制の見直し強化、新たな産業・雇用政策・生活様式への対応、ゆとりある居住空間ニーズへの対応、デジタル化推進などを考えている。

**問** 中小企業実態調査の対象事業所と調査結果の活用について、どう考えているか。

**部長** 商工会議所や商工会の会員を中心に、約2千社を対象にアンケート調査。うち、約100社に実地調査を行う。中小企業振興基本条例の理念に沿い効果的な経済政策の策定に活用する。

**問** 音止の滝の芝川対岸の森林整備をどう進めるのか。

**部長** 滝と富士山を同時に見ることができるときの景観を取り戻すため、眺望の支障となる樹木を特定し、森林土地所有者と協議を進めていく。

**問** 新たな水源確保の必要性和新水源の場所はどこか。

**部長** 北山上水道系の供給量が上限に達していること、北山浄水場の耐震化整備の際の浄水量減少への対応、災害時のバックアップ水源の確保、の3点により新たな水源が必要。北山工業団地北側、堀の内配水池西側付近で、井戸削井を実施している。

## 公明会（こうめいかい）

さいとう かずふみ  
(齋藤 和文 議員)

## 施政方針のはじめについて

**問** 第5次富士宮市総合計画後期計画策定の年であるが、具体的な事業とウイズコロナを考慮に入れて計画を進めていくのか。

**部長** 各事業の取組状況や目標値の進捗状況を検証した結果を踏まえ、遅れが見込まれるごみ処理対策の充実、農業の振興、公共交通の充実などについてさらなる事業展開の必要がある。

## 市政運営の基本的姿勢について

**問** テレワークの移住体験に対する支援とは。

**部長** 移住に踏み切れない人を後押しすることを目的に、体験する人に対し補助制度を創設し、新たなニーズに対応していく。

**問** ビジネスコネクトとは何か。

**部長** 今までの知的財産支援等の川崎モデルを堅持しつつ、新型コロナウイルス感染症拡大による経営への影響を踏まえ、市・富士宮信用金庫・富

士宮商工会議所・芝川商工会が連携し総合的相談支援体制を強化する。

**問** 切れ目のない支援とは何か。

**部長** 飲食、観光等事業者に対し飲食等事業者事業継続応援給付金事業の実施、第3波の収束を迎えるタイミングで、元気わく湧く一ポン事業第2弾を実施する準備を進めている。

**問** E-BIKEの方針転換の考えとは。

**部長** 新たに芝川地区3施設に各5台、朝霧高原地区新規2カ所、合計69台で運用する。民間事業者も含めると約100台の体制となる。

## 令和3年度重点施策について

**問** ゼロカーボンシティの具体的な取組とは。

**部長** 取組中の創エネ畜エネ機器等設置補助、地域循環共生圏づくり、小水力の導入支援、ごみダイエットプロジェクトを継続していく。令和3年度第2次環境基本計画等に2050年までの方向性や取組について具体的に示し、行政と民間が連携しオール富士宮で取り組んでいく。

## 至誠（しせい）

ほそざわ さとる  
(細沢 寛 議員)

**問** 第5次富士宮市総合計画の折り返しを迎えることから、施策の検証とある。ウイズコロナと言われる中で具体的にどう行うのか伺う。また、施策の見通しや再構築があるのか伺う。

**部長** 計画策定時に定めた成果指標に基づく目標値の進捗状況や施策の取組状況を踏まえ、庁内で検証を行っていく。コロナ禍を経験したことによる、新しい視点や技術を取り入れ、加えることで従来の方針や計画に厚みが増していくものと考え。豊かな自然、きれいな水、すばらしい景観、地味豊かな食材、富士山信仰の聖地など、先人たちが守ってきた豊かな恵みを守り、活かしていくことでさらに活力あふれ、世界中の人々が訪れる文化都市富士宮市を築いていかななくてはならない。

**問** 市史編さんについて、令和4年度第1巻刊行を目指すとする。現在の進捗状況を伺う。また各

巻の発行予定はあるか。

**部長** 市制施行80周年を迎える令和4年度に第1巻自然環境編の刊行を振り出しに、民族編、通史編1から3の計5巻を発行する予定。令和4年度に第1巻自然環境編、以降令和6年度に民族編、令和7年度に通史編1、令和8年度に通史編2、令和9年度に通史編3を刊行予定。

**問** 森林整備計画の作成、森林環境贈与税の活用及び担い手の育成について伺う。

**部長** 10年を1期とする整備計画を策定し、5年ごとの見直しを行っている。地域の森林、林業の特徴を踏まえた森林整備の基本的な考え方や地域の実情に即した森林整備を推進するための森林施業の標準的な方法及び森林の保護等の規範、路網整備等の考え方等を定める長期的な視点にたった森林づくりの構想をまとめたもの。平成31年度に創設された森林環境贈与税の現在積立金は1156万6千円。令和2年度中にさらに交付があり、3月末には4440万円になる。



## 芙蓉 (ふよう)

うえまつ けんいち  
(植松 健一 議員)

### 令和3年度市長市政方針について

**問** これから高齢化社会を迎えるに当たって、高齢者が自分の意思で率先して移動し、好きなところへ行けるような公共交通の早急な整備が求められるが、今後の見通しは。

**部長** 今後の公共交通の整備として、宮タクの運営方法の改善を予定している。便の増便やエリア間の接続について改善していく。また実証実験として北部エリア及び芝川エリアから乗り換えなしで中心市街地まで行けるようにすること、全てのエリアで会員の同乗者利用を認めるようにすることなどを行なう。

**問** 市の財政運営はコロナ禍でも健全であるが、経常的経費が増えており、財政の弾力性が失われつつあると危惧するが、改善のためどのように取り組んでいくのか。

**部長** 例年、予算要求における最重点事項の一つ

として、人件費を除く経常的経費に係る要求額はゼロベースから積み上げること等、全職員に周知しコスト意識を強く持ち、いたずらに予算が膨らまないよう一丸となって取り組んでいる。今後も徹底した事務事業の見直しや事業の選択と集中を図ることで、経常的経費の増加を最小限に抑え、限られた財源を有効的かつ効果的に活用することが重要であると考えている。

**問** 将来の富士宮市像として「富士山に感謝するまち」、そんなフレーズが似合う富士宮市にしていきたいと考えるが、市長の考えは。

**市長** 日本人の「こころ」とも言える富士山を受け継ぎ、また次の世代につなげ、さらに市民の皆様が富士山のあるまちに住んでいることに誇りを感じていただけるようなまちづくりを進めていきたいと改めて強く思う。まちづくりを進める中で、富士山に感謝するということは大変大事な考え方だと思う。提案の富士山に感謝する、そんな機運醸成につなげていきたい。

## 令和 (れいわ)

ふかさわ りゅうすけ  
(深澤 竜介 議員)

### ウイズコロナの時代感覚

**問** 人々の価値観が変わる中で、市政の方針は何か変わったのか。計画変更したものや方向性を変えたものがあるのか。

**部長** 市政運営の方針や総合計画をはじめとする各種計画については、これまでの方向性が大きく変わるものではなく、むしろ新型コロナウイルス感染症を経験することで新たな視点や技術を取り入れ、加えることで従来の方針や各種施策に厚みが増すものと考えている。

### デジタル推進

**問** デジタル推進について、民間人の採用を考えているのか。

**部長** デジタル化を専任する職員は、行政実務及び本市の事務事業に精通していることが最も重要となるので、現時点では内部職員を配置する予定である。

### これからの時代の中小企業支援策

**問** 電気自動車へのシフト化や裾野市で着工したウーブン・シティへの対応は何かあるのか。

**部長** 自動車産業等の再編が進むことが予想されていることから、静岡県工業技術支援センター等の支援組織との連携を図り、優れた市域資源や産業基盤を活用し、新たな技術や素材と融合した次世代産業の創出を目指していきたいと考えている。

### (仮称) 郷土史博物館構想

**問** コロナにより、「箱物をつくって、そこに人を集める」ものから、「屋外の現場やネット上での体験や知見を得る」ことを重視することへ価値観が変わった。博物館基本構想はそうした価値観の変化に対応するものなのか。

**部長** 市民が地域の文化資源を学ぶため、学習機会の提供、調査研究、保管・保存などに取り組む拠点とすることを基本方針としており、この考え方はアフターコロナにあっても変わらない。

富岳会（ふがくかい）

さの あし  
（佐野 孜 議員）

はじめに

問 市制施行80周年等市主催行事の進捗状況。

部長 将棋タイトル戦の誘致進行中。その他は、イベント開催の国ガイドラインに沿って検討。

市政運営の基本方針

問 芝川方面へのE-BIKE導入と道路安全対策。

部長 道路状況に留意し安全対策をして、自然と歴史を満喫できる回遊路を計画し、実施予定。

問 災害時の北部地域の医療機関への対応。

部長 救急診療等は、救急医療センターと輪番制の1次救急、市立病院の2次救急。北部は医療機関と距離があるが、ふだんからかかりつけ医を持ち、必要に応じて適切に救急搬送の利用を。

問 免許返納以外の高齢者の事故防止対策。

部長 関係機関等が行う交通安全運動や高齢者交通安全講習会。また、規制標識も随時修繕。

令和3年度重点施策

問 富士山の自然を満喫できる観光基盤整備。

部長 田貫湖湖畔荘跡地整備、道の駅のテラス席増築を計画。小田貫湿原は植物生態や水源涵養を調査分析し周辺山林を考慮した整備に着手。

問 郷土意識が高く地域に根差した人材育成。

部長 若者が地域産業を見直す企業紹介や「いつかは富士宮へ帰る」と思えるよう、教育、福祉、環境、地域を若者のニーズにマッチさせる。

問 3世代同居を促進するメニュー。

部長 改築等の費用が30万円以上であること等の条件で、新たに3世代が同居する場合に20万円分の宮クーポンを交付する。

問 「学んでよし」を生かす教育目標の検討。

教育長 主要施策とし、調和のとれた子どもを育成。教育全般で、「分かった」「できた」「やった」「頑張った」の達成感を持たせる教育方針。

おわりに

問 静岡富士病院跡地への感染症対策施設誘致。

部長 住宅用地や企業誘致利用考えたが、困難。

政務活動費・議長交際費

●政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき条例で定められ、議会の監視機能強化や政策立案能力向上を図るため、視察調査をはじめ、資料作成・資料購入・研修参加など議会活動に活用しています。

当市議会では、1人当たり年額30万円※1が会派に交付され、年度末残額は市に返還されます。

※1…令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策費用捻出のため、議員からの申し出により、1人当たり15万円までの使用としました。

令和2年度 会派別 政務活動費 使途内訳

項目	日本共産党議員団	政経会	富岳会	令和※①	公明会	蒼天	芙蓉	至誠	合計
所属議員 (R2.4.1現在)	2人	5人	5人	3人	2人	2人	2人	1人	21人
(R2.10.29)※②		0						5	
交付決定額(A)※③	600,000円	1,500,000円	1,500,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	1,455,775円	6,000,000
使用限度額	300,000	750,000	750,000	300,000	300,000	300,000	300,000	727,888	
決算額(B)	205,518	44,225	4,400	285,373	70,395	21,054	128,372	6,495	765,832
差引返納額	394,482	1,455,775	1,495,600	314,627	529,605	578,946	471,628	1,449,280	5,234,168
交付額に対する執行率B/A	34.3%	2.9%	0.3%	47.6%	11.7%	3.5%	21.4%	0.4%	12.8%

※①中村憲一議員(令和)は、申し出により辞退。 ※②政経会は令和2年10月29日に解散し、同一議員で至誠を同日結成。 ※③至誠は政経会解散後同一議員で令和2年10月29日に結成。政経会の返納額が交付額となる。

●議長交際費とは

議会の対外的な活動をするため、議長が議会を代表して外部の個人や団体との交際や交渉に要する経費で、社会通念上妥当な範囲で必要最小限の支出に努めています。なお、令和2年度の予算額は70万円でした。

※政務活動費や議長交際費の内容について、詳しく知りたい方はHP等で閲覧できます。



6月

## 6月定例会の予定

6月18日(金)～7月5日(月)で開催予定

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18 開会議運	19
20	21	22 議案審議	23 総務	24 環境	25 産業	26
27	28	29	30 一般質問			

日	月	火	水	木	金	土
				1 一般質問	2 一般質問	3
4	5 一般質問閉会	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月30日、7月1日・2日・5日の午後の一般質問は、13:20から始めます。

※議運…議会運営委員会、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会  
議会開会中、本会議はインターネット中継等で視聴できます。

◆定例会中以外にも、議会運営、総務文教、環境厚生、産業都市、議会だより編集の各委員会及び  
全員協議会等が随時開催されております。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL:0544-22-1191



## 声の議会だより

皆さん「音訳」という言葉をご存じでしょうか？

文字や図などの情報を音声化することを「音訳」と言います。特に、視覚に障がいのある方、見にくさを感じている方にとって、音訳は情報収集のための大切な手段です。

議会だよりは「音訳ボランティアやまびこ」という団体様のご協力により、毎号内容の一部を音訳していただき「声の議会だより」として発行しています。

声の議会だよりは、中央図書館でどなたでもレンタルすることができます。また、富士宮市HP内には、議会録画映像もありますのでどうぞご利用ください。

※声の議会だよりはCD版、デージー版の2種類があります。

※声の議会だよりは、容量の関係上、主に議会だよりの中の一般質問を取り上げています。



## ・若林 志津子 議会だより編集委員長から・

議会だよりは「分かりやすく、親しみやすく」と作っています。その想いは、市民の皆さんに伝わっていると確信しています。

今後も皆さんに関心を寄せていただける「議会だより 笑顔のために」になるよう、次の委員長にバトンを渡します。

前列左から）細沢覚副委員長、若林志津子委員長

後列左から）松永孝男委員、近藤千鶴委員、野本貴之委員、稲葉晃司委員、齋藤和文委員



▲議会だより編集委員会（撮影時のみ、マスクを外しています）

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりはフルカラー印刷から2色刷り印刷（表紙・裏表紙のみカラー）に変更されています。



笑顔のために

NO.421

令和3年6月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248  
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp